

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 青森県  
 本事業の担当部局名 こども家庭部こどもみらい課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	重点メニュー						
関連事業メニュー	1.2.1 自治体間連携を伴うライフデザイン・結婚支援重点推進						
個別事業名	出会い・結婚バックアップ事業(ライフデザイン形成支援)					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度	令和7年度
総事業費(A)(円)	6,295,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	6,295,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	6,295,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	264,000	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	264,000	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計
	総事業費	6,031,000	0	0	0		6,295,000
	対象経費支出予定額	6,031,000	0	0	0		6,295,000
対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p>&lt;自治体における少子化対策の全体像&gt; ※全事業共通        過年度に引き続き、婚姻件数や婚姻率の低下に歯止めをかけるべく、結婚支援センターの運営、マッチングシステムや結婚相談所の活用により出会いの機会を創出するほか、ライフプラン講座の開催やライフデザイン形成支援情報誌の制作等により、主に若い世代を対象にライフデザインの形成を支援する。        また、EBPMを意識した事業を推進するため、実施後に事業対象者に丁寧にアンケート調査等を行い、次年度以降により効果的な取組を行えるように留意する。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt;        若い世代が、結婚・妊娠・出産を含む将来の様々なライフイベントに柔軟に対応できるよう必要な知識・情報を提供するとともに、自らの理想のライフプランを考えるワークショップを開催するもの。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	大学生向けライフデザイン講座の開催	県内の大学の協力を得て、大学生向けのライフプラン講座の実績が豊富であり、かつ独自のライフプラン形成ツールを開発した民間企業と連携して、若者が充実した人生のために、自身の人生を長期的視点で考え、結婚・妊娠・出産等を含めた大きな人生の分岐点(ライフイベント)に於いて自律的選択をするためのヒントを見つけるきっかけなることを目指して、グループワークを交えたライフデザイン講座を開催する。 ※対象:県内大学等5回を予定				
	2	ライフデザイン形成支援情報誌の制作・配布	若年者のライフデザイン形成支援の一環として、自らのライフプランを長期的視点で客観的に検討するためのページや、結婚・妊娠・出産を含めたライフプラン形成に資する著名人等のインタビューページ、県や市町村の結婚支援情報等を掲載した結婚支援情報誌を制作し、若年者に対して配布する。 ※制作部数 10,000部 ※配布方法 市町村の成人式等でのイベントや主に若年者が参加するイベント等で配付 ※仕様 A4またはA5サイズ フルカラー 16ページ程度 ※コンペにより委託先を選定				
	3	市町村との連携	・県と連携して取り組む市町村において、ライフプラン形成を支援するためのライフプランセミナーを一般若年者向けに開催する。 連携市町村: 弘前圏域市町村、南部町 ・県と連携して取り組む市町村において、成人式等でライフデザイン形成支援情報誌を配布する。 連携市町村: 八戸市、十和田市、三沢市、中泊町、野辺地町等				
<p>&lt;過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)&gt;        令和7年度は、県内大学でライフデザインセミナーを計5回開催し、約160人が参加し、セミナー受講後、その94%が人生のライフイベントに対する考え方に変化を感じ、「恋愛・結婚」「学ぶこと」「働くこと」への気持ちの高まりが確認された。また、ほか、        ・今後は、他大学でのセミナー開催やより視覚効果の高い情報誌の制作等により、若い世代のライフデザイン形成を更に支援していく。</p>							

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	婚姻率		%	2.9より増加 (R11年)	2.9 (R6年)
	合計特殊出生率			1.68 (R11年)	1.14 (R6年)
	出生数		人	5,099より増加 (R11年)	5099 (R6年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.14 (R6年度)	
	婚姻件数		件	3313 (R6年度)	
	婚姻率			2.9 (R6年度)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	ワークショップ参加者数	人	150 (R8年度)	165 (R7.2時点)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80 (R8年度)	—
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	— — —	— — —
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	— — —	— — —
	④				
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					